社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

青森林業土木協会

活動内容	蔵王国定公園でクリーン作戦を実施

1　実施年月日　：　平成２９年７月２１日
2　実施場所　　：　仙台森林管理署管内　上原山国有林２３６林班内
3　参加会員数　：　宮城県内会員３社、岩手県内会員１社　　２５人
4　活動内容：

仙台森林管理署は、宮城県南部地域に広がる５万５千haの国有林を管轄していますが、管内には、仙台市の水源林、蔵王国定公園、宮城蔵王スポーツ地域、仙台自然休養林などがあります。蔵王国定公園は、宮城県と山形県にまたがる国定公園で、奥羽山脈上の面白山及びその南に続く蔵王連峰からなる山岳公園であり、特に御釜は「五色沼」とも呼ばれ、蔵王連峰のハイライトとして多くの観光客が訪れています。

今回のボランティア活動は、仙台森林管理署からの要請を受け、蔵王御釜・レストハウス駐車場周辺で入山者に対しクリーン活動のチラシ等の配布するとともに、遊歩道周辺の清掃活動を実施したものです。

活動当日は、仙台森林管理署前で出発式を行い、佐々木宮城県支部長が活動の主旨と安全作業の呼びかけを行った後、齋藤森林管理署長から感謝の意を込めた御挨拶をいただきました。その後、活動箇所に移動しボランティア活動を実施しましたが、天候にも恵まれ、また、ドリンク・塩飴等を添えたチラシの配布は、観光客の皆さんから感謝され、参加者も楽しく作業を行うことができました。

活動写真・報道

参加者の皆さん

森林管理署の前での出発式

観光客にクリーン活動のチラシを配布

活動写真

クリーン活動のチラシ

配布したドリンク、チラシなど

遊歩道周辺での清掃作業

遊歩道周辺での清掃作業

社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

青森林業土木協会

活動内容	林道の整備をボランティアで実施

1　実施年月日　：　平成２９年１０月５日
2　実施場所　　：　岩手南部森林管理署管内　西根林道ほか
3　参加会員数　：　岩手南部地区会員企業４社　　１５名

4　活動内容：

岩手南部森林管理署は、岩手県の内陸南部に位置し、４市３町にわたり国有林約１５１千haの国有林を管理しています。管内には、和賀岳、夏油三山、焼石岳、須川岳など奥羽山脈を代表する山々があり、新緑から紅葉まで登山者やハイカーに人気があり、年間を通じて自然とふれあえる場所となっています。

今回は、２７年度の点検調査で問題が指摘されていた、台川林道等において安全で円滑な通行の確保を目的に、カーブミラーの設置、標識の補修及び清掃作業を実施しました。

活動写真

作業に参加された皆さん

カーブミラーの設置作業

古い標識を撤去、改修

倒れた標識の補修

社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

青森林業土木協会

活動内容	県道沿線の国有林で不法投棄の回収などに協力

1　実施年月日：　平成２９年１１月１４日
2　実施場所　：　盛岡森林管理署管内　南昌山国有林４３１ よ2林小班ほか
3　参加会員数：　当協会(岩手県北地区会員企業８社ほか)　　１９人
　　盛岡森林管理署　　１１人
　　盛岡広域振興局　　１０人
　　矢巾町住民課　　２人　　総勢４２人
4　活動内容：

今回のボランティア活動は、不法投棄防止ＰＲ活動の一環として、昨年度に引き続き矢巾町から御所湖へ繋がる県道２８１号線(矢巾西安庭線)沿線の国有林等において、盛岡森林管理署、盛岡広域振興局、矢巾町、当協会の四者が連携し実施したものです。

長江森林管理署長、矢巾町吉田課長補佐の挨拶に引き続き、作業手順、注意事項の説明後、３班に分かれて不法投棄物の撤去・回収作業を行いました。

作業箇所には急傾斜地もありましたが、ロープなどを使って冷蔵庫、ソファー、タイヤ等を道路まで引き上げ、４ｔトラック２台分のゴミを回収しました。

当協会としては、関係機関の理解や協力も得ながら、こうした活動が不法投棄の防止に役立つことを期待し、今後も積極的に取り組んでいくこととしています。

活動写真

御挨拶をいただいた長江森林管理署長

作業に参加者された皆さん

不法投棄されたゴミの収集作業

活動写真

不法投棄されたゴミの収集作業

収集したゴミの積み込み作業

報道資料（岩手日報）

国有林地汚す不法投棄

矢巾で盛岡森林管理署 関係者ら40人が撤去活動

盛岡森林管理署は14日、不法投棄防止PR活動の一環として矢巾町の県道矢巾西安庭線沿いの国有林内で不法投棄防止クリーン活動を行った。同署や盛岡広域振興局、建設業者で組織する青森林業土木協会、矢巾町の関係者約40人が参加。地域の美しい森林や自然を守るため、不法投棄されたごみを回収した。

同署などによるクリーン活動は、昨年に続き2回目。参加者が活動した南昌第二トンネル付近は、夜間の交通量が少なく、駐車スペースがあることから、家庭ごみなどの不法投棄が後を絶たない。同署が1カ月前に現地調査した後に新たに捨てられたとみられるごみなど、多くの不法投棄が見られた。

国有林内で不法投棄防止クリーン活動を行う関係者

活動では、テレビや冷蔵庫、洗濯機、ソファなどの家庭ごみが撤去された他、車のボンネット部分やタイヤ、業務用の冷蔵庫なども見つかった。参加者は急斜面でごみを集め、大型のものはロープを掛けて引っ張り上げるなど、用意したトラックに次々とごみを積み上げていった。

同署の澤藤和利総括事務管理官は「国有林は誰もいないため不法投棄が起きやすい。不法投棄撲滅に向けて通常業務でも行っているが、関係機関と連携して取り組むことでPRになる。国民の森林なので、ぜひ不法投棄などの行為をしないようにしてほしい」と呼び掛けた。

矢巾町住民課の吉田徹課長補佐は「町でも街をきれいにする運動やシルバー人材センターに委託してのパトロールをしているが、いまだに不法投棄がなくならない。ここは紅葉を見に来る人もいる場所。去年も同じように関係機関でパトロールして撤去しているが、まだ不法投棄がある。一緒に活動することで、不法投棄防止の啓発につながれば」と話した。

社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

青森林業土木協会

活動内容	ニホンジカ被害防除にボランティアで協力

1　実施年月日　：　平成２９年１２月１５日～平成３０年３月１５日（実施中）
2　実施場所　　：　三陸中部森林管理署管内　末崎山国有林５９か1林小班ほか
3　参加会員数　：　岩手県内会員企業１２社　　２９名
4　活動内容：

三陸中部森林管理署は、岩手県の沿岸南部に位置し、３市２町にわたり国有林約２９千haの国有林を管理しています。山岳部の五葉山周辺は、五葉山県立自然公園及び保健保安林となっており、レクリエーションの場として広く利用されています。また、海岸部は、複雑に入り込んだリアス式の海岸線からなる観光名所が多く、大勢の方々が訪れています。

一方、近年、ニホンジカの分布域が拡大し、白神山地においても確認されるなど食害による生態系への影響が懸念されています。特に生息密度の高い三陸中部森林管理署では、被害調査や防鹿柵の設置等に取り組んでいますが、五葉山を中心に約１万頭が生息していると推定されており、海岸部景観への影響も懸念されています。こうしたことから、今回、森林管理署と打ち合せの上、ニホンジカ被害防除にボランティアで協力することとしたものです。

作業前には、菅原副会長の挨拶の後、畠沢森林管理署長から感謝を込めた御挨拶をいただきました。

その後、作業箇所に移動し、３班に分かれて防鹿柵の点検・修繕及びシカが捕獲された場合の埋設穴掘削作業を行いました。今後、シカが捕獲されれば、埋設作業を実施することとなります。当協会としては、今後ともシカ被害防除対策に協力していく考えです。

活動写真

御挨拶をいただいた畠沢森林管理署長

挨拶を述べる当協会の菅原副会長

作業に参加された皆さん

作業現場でのミーティング

活動写真

シカ埋設用穴の掘削作業

防鹿柵の点検及び補修作業

破損した防鹿柵（左）の補修を実施